



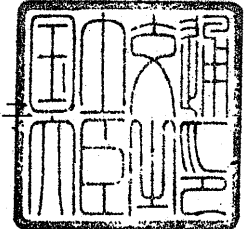
認定書

国住指第119号
平成13年2月15日

吉野石膏株式会社

須藤 永一郎 様

国土交通大臣 林 寛子



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第68条の26第1項（同法第88条第1項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第2条第七号及び同法施行令第107条第一号（柱：1時間）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号

FP060CN - 0002

2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称

強化せっこうボード被覆／中空鉄骨柱

3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容

別添の通り

(別添)

1. 構造名

強化せつこうボード被覆／中空鉄骨柱

2. 寸法及び形状等

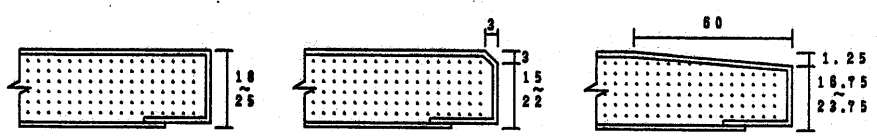
(寸法単位：mm)

項目	申請構造
形状	ボード
厚さ	18以上
寸法	W386以上×H(階高による)

3. 材料構成

①主構成材料

(寸法単位：mm)

項目	申請構造
(1) 荷重支持部材 (断面寸法)	H-300×300×10×15以上
(2) パネル	<p>強化せつこうボード</p> <ul style="list-style-type: none"> 規格 (旧) 不燃 第1008号, JIS A 6901 (GB-F) 形状 平板 表面の形状 平滑 端部の形状 <p>スクエア ベベル テーパー</p>  <ul style="list-style-type: none"> 厚さ 18±0.5, 21±0.5, 25±0.5 大きさ 最小 455×455 最大 1210×4500 かさ比重 0.75以上 質量 (kg/m²) 13.5 以上 含水率 (%) 3.0 以下 曲げ破壊荷重 (N) 750 以上 (JIS A 6901の試験方法による)

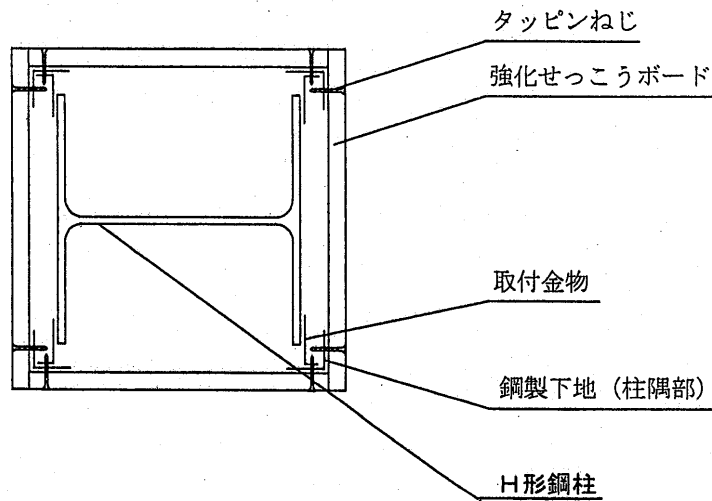
②副構成材料

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造
(1) タッピンねじ	JIS B 1122又はJIS B 1125に規定する防錆処理したもの 寸法：φ3.5以上× \varnothing 32以上
(2) 鋼製下地 (柱隅部)	JIS A 6517又はJIS G 3302に規定する防錆処理したもの 形状及び寸法 1) 鋼製下地を直接又は取付金物を介して鉄骨柱に取付ける場合 L-40×40×0.5の断面以上 C-50×45×0.5の断面以上 □-40×25×0.5の断面以上 2) 鋼製下地を上下スラブ間で支持する場合 ・鋼製下地 C-50×45×0.5の断面以上 □-40×25×0.5の断面以上 ・上部・下部ランナー C-25×40×0.5の断面以上
(3) 取付金物	JIS A 6517又はJIS G 3302に規定する防錆処理したもの 形状及び寸法 ・鋼板-100×100×0.5の断面以上 ・L-75×25×100×0.5の断面以上
(4) 強化せっこう ボード横目地部 補強金物	JIS A 6517又はJIS G 3302に規定する防錆処理したもの 形状及び寸法 C-50×25×0.5の断面以上
(5) 断熱材	・グラスウール (旧)不燃第1031号, JIS A 6301, JIS A 9504 ・ロックウール (旧)不燃第1022号, JIS A 6301, JIS A 9504
(6) 目地等処理材	せっこう系又は炭酸カルシウム系 JIS A 6914に適合するもの又は、同等以上の性能を有するもの

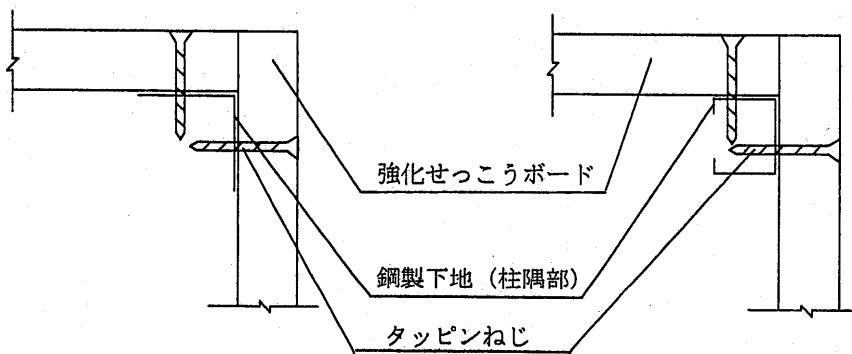
4. 構造説明図

水平断面図

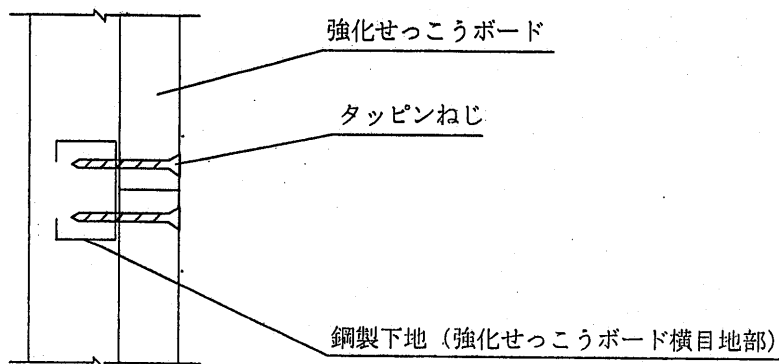


詳細断面図

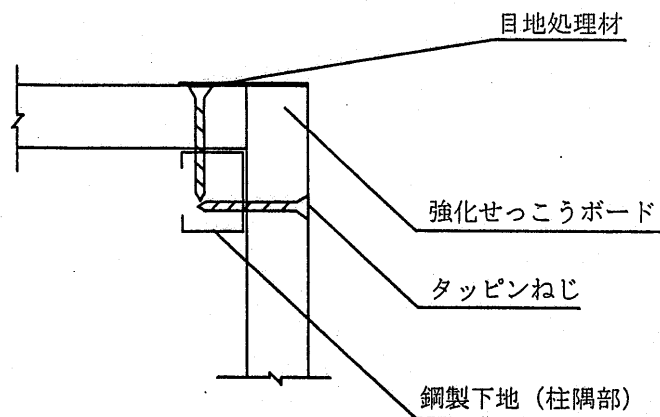
①強化せっこうボード隅部詳細水平断面図



②強化せっこうボード横目地部詳細垂直断面図

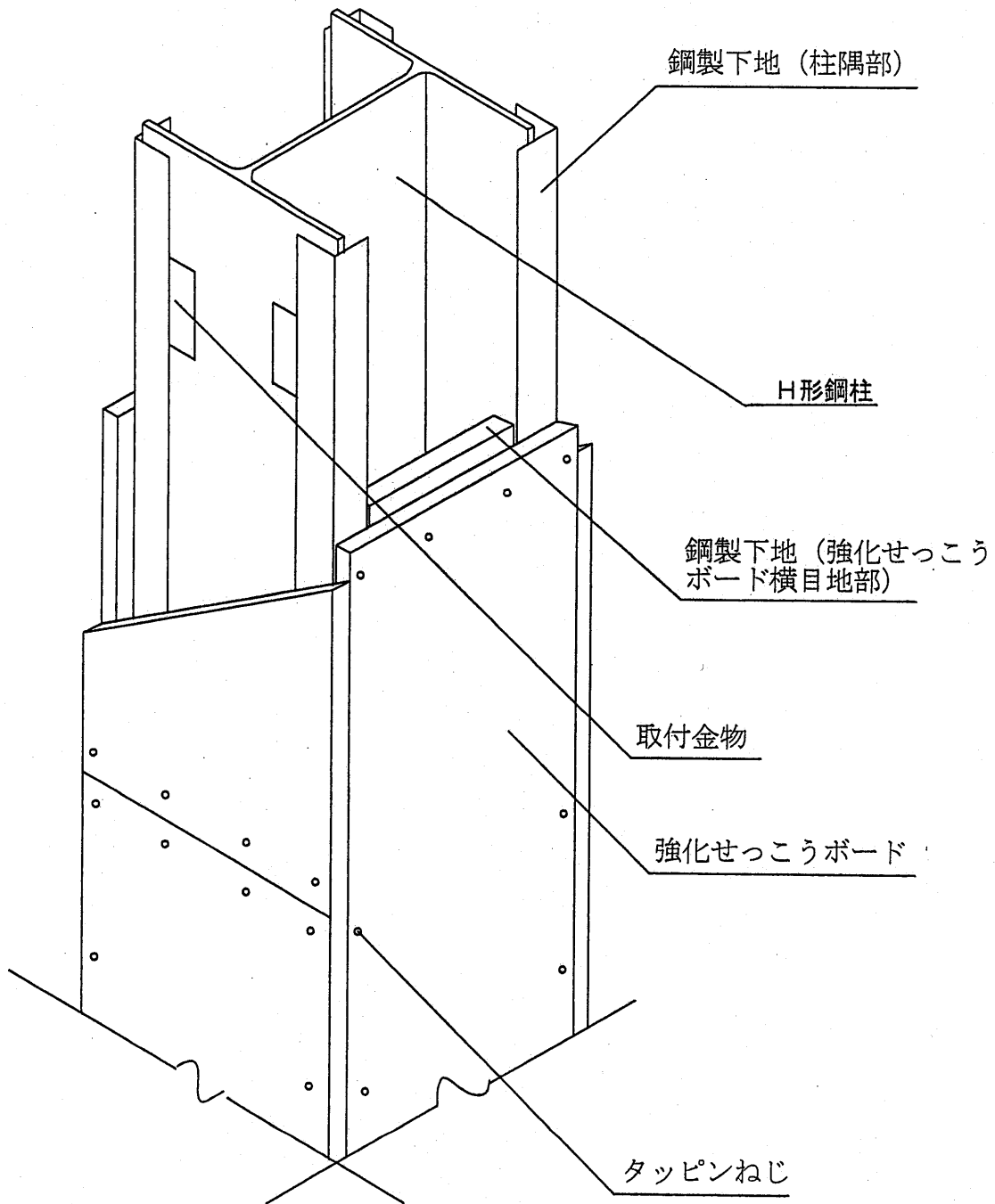


③目地処理部分詳細水平断面図



4-5. 標準施工方法等

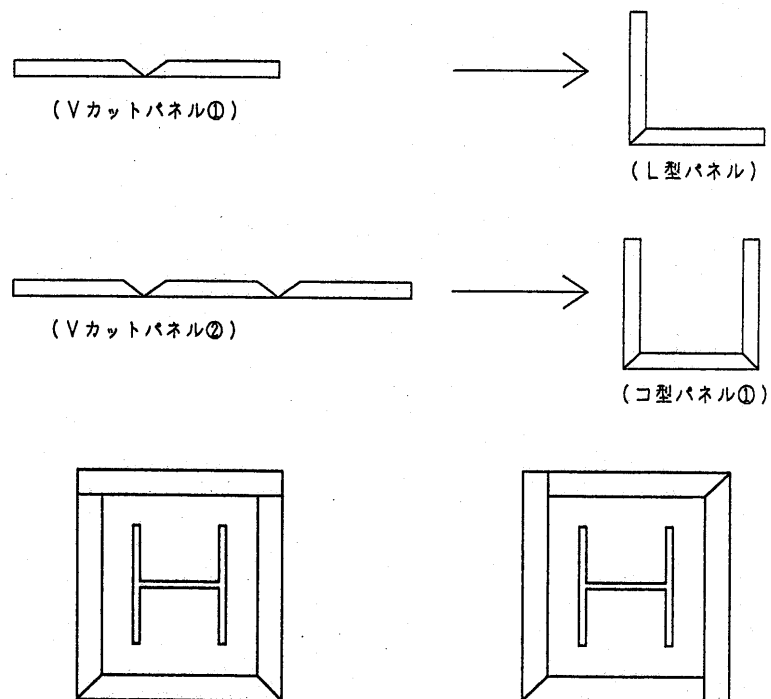
標準施工図



<標準施工手順>

- 1) 墨出し：
 - ・現場施工図に合わせ、所定の位置に墨出しを行う。
- 2) 鋼製下地(柱隅部)の取付け：
 - ・鋼製下地を鉄骨柱に取付ける場合
鋼製下地を鉄骨柱に直接又は取付金物を介して取付ける場合は溶接等にて取付ける。
 - ・鋼製下地を上下スラブ間で支持する場合
スラブにランナーをバッファーピン、コンクリート釘等にて取付けた後、鋼製下地をランナーに取付ける。
- 3) グラスウール又はロックウールの挿入：
 - ・必要に応じてグラスウール又はロックウールを鉄骨柱にスピンドルピン等を用いて取付ける。
- 4) 強化せっこうボード等の取付け：
 - ・強化せっこうボードを取付ける場合
強化せっこうボードを、所定の寸法に切断し、鋼製下地(柱隅部)及び取付金物に $\phi 3.5\text{mm} \times \varnothing 32\text{mm}$ 以上のタッピンねじで約200mmの間隔で留付ける。強化せっこうボードの横目地部の補強金物は、強化せっこうボードの取付時に $\phi 3.5\text{mm} \times \varnothing 32\text{mm}$ 以上のタッピンねじで約150mmの間隔で取付ける。但し、横目地部補強金物等の鋼製下地材は強化せっこうボードを取付ける前に予め強化せっこうボードに取付けておいても良い。
 - ・強化せっこうボードをパネル化して取付ける場合
所定の寸法に切断し、更に所定の位置にVカットした強化せっこうボードを、工場又は現場にて、L型又はコ型のパネルに成型する。鋼製下地は予め鉄骨柱に取付けるか又はパネル成型時に折曲げ部内側に鋼製下地(柱隅部)を $\phi 3.5\text{mm} \times \varnothing 32\text{mm}$ 以上のタッピンねじで約200mmの間隔で取付ける。強化せっこうボードの横目地部の処理は上記と同様に行う。

<パネルの形状>



- 5) 目地部の処理
 - ・目地部は、目地処理材にて平滑に仕上げる。
- 6) 表面仕上げ
 - ・目地処理終了後、防火上支障のない塗装、クロス張、吹付け等にて仕上げる。